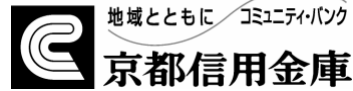


## 地域密着型金融推進計画の進捗状況

平成18年9月期



京都信用金庫は、平成17年3月に金融庁より公表された「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」に基づき、平成17年8月にとりまとめた「地域密着型金融推進計画」について、平成18年9月までの進捗状況を報告します。

### 事業再生・中小企業金融の円滑化

#### 1. 取引先企業に対するサポート

##### 税理士との連携による取引先支援

当金庫と提携する税理士の会（平成18年9月末現在、12クラブ385人）の協議機関である「近税京信連絡協議会」は、平成16年10月の設立以来、会員税理士の顧問先および当金庫の取引先の活性化や、地域経済の発展のために、互いに連携をはかり活動してきました。

当金庫では、会員税理士の顧問先を対象に、平成18年4月以降2種類の融資商品「イントロデュース for クライアント」を取り扱いました。



##### 地元企業との連携

##### ビジネスマッチングイベント「パートナーシップ」の開催

平成18年6月、当金庫取引先の若手経営者の異業種交流団体である「京信ジュニア・オーナー・クラブ（JOC）」主催で、ビジネスマッチングイベント「パートナーシップ」を開催しました。JOCの会員企業だけでなく、一般企業、大学からも参加があり、広くマッチングを推進するイベントとして、今後も開催する予定です。

今回の「パートナーシップ」の実施で、「地域密着型金融推進計画」において公表した数値目標のうち「産学連携推進のための企画実施」は、合計4回となりました。



##### 「新連携・販路ナビ相談交流会」の開催

平成18年9月、京都府南部地域の中小企業経営者を対象に、異業種連携によって新事業にチャレンジする中小企業や、新商品の販路を探す企業をサポートする場として「新連携・販路ナビ相談交流会」を地元商工会や近畿経済産業局、中小企業基盤整備機構近畿支部との共催で開催しました。



## 中堅・中小企業向け格付け（日本SME格付け）取扱開始

平成18年9月より、米国格付け会社「スタンダード&プアーズ（S&P）」と信用情報業の「日本リスク・データ・バンク」が共同開発した「中堅・中小企業向け格付けサービス（日本SME格付け）」の取扱を開始しました。中堅・中小企業にとっての第三者機関の格付けは、財務成績の公開のみでなく宣伝効果としても期待できるものです。

## 「ネットビジネス計画立案セミナー」の開催

平成18年9月、インターネットでの物販に興味がある方や、ネットビジネスへの参入を検討しているお客様を対象に、ヤフー株式会社の協力で「ネットビジネス計画立案セミナー」を開催しました。

## 地元大学との連携

地元企業の活性化のため、平成18年9月あらたに京都学園大学と産学連携に関する包括提携の覚書を締結しました。平成16年から地元大学との包括提携を進めてきた結果、今回の提携により提携大学数は合計15大学となりました。



## 2. 事業再生への取り組み

「経営改善支援取組先」として、平成17年4月以降592先を選定し、そのなかで様々な手法を活用して再生支援を行いました。平成18年度上期の実績は以下の通りです。

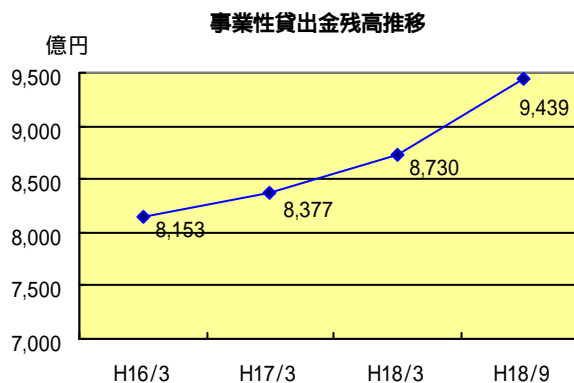
平成18年4月～9月取組実績 (件数)

再生支援の手法	上期
公認会計士・税理士・コンサルティング会社等との連携による再生支援先	15
中小企業再生支援協議会を活用した再生計画策定決定先	7
京都府中小企業再生支援協議会の企業再生委員会との連携により他金融機関の協力を得ての再生支援先	15
京都府・京都市中小企業再生支援融資制度を活用した再生支援先	24
整理回収機構の再生機能を活用した再生支援先	8
企業再生ビジネスサポートシステムを活用した再生支援先	11

## 3. 円滑な中小企業金融の推進

地域のお客様の資金ニーズにスピーディーにお応えするために、平成17年度より新しい格付制度を導入し、無担保・第三者保証不要の融資商品をご提供しました。

平成18年度も、この新格付制度をベースに、強まる金利先高感に対応した、固定金利型の融資商品等をご提供した結果、当金庫の事業性貸出金残高は順調に増加しています。



## 4. 人材の育成

企業活動の実態を企業側の立場で体験する「取引先企業派遣研修」を、平成17年度より実施しています。平成17年度には8名、平成18年度上期には9名の職員を、製造業・加工業・小売業等様々な業種の企業(のべ17社)に、約1ヵ月間派遣しました。企業活動を経験することで、より幅広く企業を見る目を養うことを目的としたこの研修は、平成18年度下期にも10名の職員の派遣を予定しています。



## 経営力の強化

### 1. 完全四半期決算開示の開始

経営の透明性とガバナンスの向上をはかるため、当金庫では9月の半期決算の開示に加え、平成16年度から12月期決算も開示してきました。これに加え、平成18年度より6月期決算についても開示することとし、これにより、完全な四半期決算開示を行うこととなりました。今後もさらにお客様への情報開示につとめてまいります。

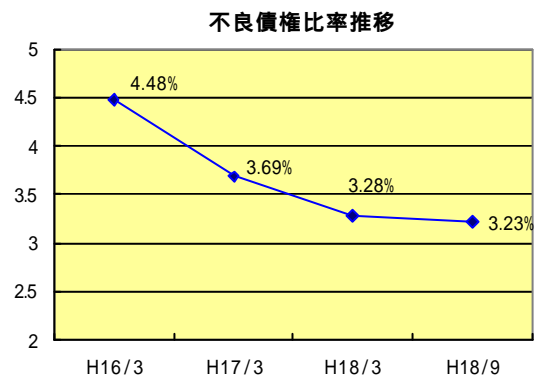
### 2. 営業力とセキュリティの強化

18年9月より、新しい営業用携帯端末機の導入を開始しました。訪問営業の強化をはかると同時に、お客様の大切な情報が漏洩することがないように、データの暗号化等のセキュリティ機能を強化しました。

### 3. 貸出資産の健全化への取組

これまで貸出資産の健全化に積極的に取り組んできた結果、平成18年9月末の不良債権比率は3.23%となりました。

平成17年8月に発表した「地域密着型金融推進計画」において、当金庫は平成18年度末の不良債権比率目標を2%台と設定しており、この達成を目指して更なる貸出資産の健全化に取り組めます。



## 地域の利用者の利便性向上

### 1. 「お客様アンケート調査」の実施と結果の開示

お客様にご満足いただける商品・サービスをご提供するため、「お客様アンケート調査」を実施し、お客様の声をお伺いしました。平成18年2月から4月まで実施したアンケートでは、営業店の窓口や当金庫のホームページにて、3,680件の回答をいただき、この結果を6月にホームページで開示しました。このアン



ケート結果をもとに、商品・サービスを充実し、より信頼され親しまれる金融機関を目指して努力してまいります。

## 2. 預金商品の充実

### 「京信1%積金」(取扱期間：6月12日～7月31日)

個人のお客様を対象とした、金利が魅力の定期積金を期間限定で取り扱いました。



### 「京信1%定期」(取扱期間：7月10日～7月14日)

「京信ポイントサービス」のゴールドステージのお客様を対象に、総額100億円限定で取り扱いました。年1%という魅力ある金利が好評で、取扱開始から1週間で総額100億円を突破しました。

### 「べんりよきん」(取扱期間：9月1日～10月6日)

京信ポイントサービスをお申し込みいただいている方を対象に、総額300億円限定で取り扱いました。3ヵ月たてば、いつでもお申し込み時の金利で解約できる定期預金で、金利もスーパー定期1年ものに0.05%上乘せし、お客様の金利に対する関心の高まりにお応えしました。



## 3. セキュリティの強化

平成18年7月よりキャッシュカードのセキュリティ強化策として、個人向けインターネットバンキングサービス・モバイルバンキングサービスをご利用のお客様を対象に「キャッシュカード引き出し通知サービス」を開始しました。

当金庫では、金融犯罪防止対策を経営の重要課題のひとつと捉え、平成18年3月には「ICキャッシュカード」の導入を開始し、より安全に当金庫のキャッシュカードをご利用いただけるよう努めています。

## 4. 店舗ネットワークの充実

### 西宇治支店を新設

平成18年6月5日、永らくご愛顧いただいた小倉支店と槇島支店を統合し、西宇治支店として新設オープンしました。また、槇島支店の跡地にはお客様の利便性を損なわないよう「槇島出張所」として店舗外キャッシュコーナーを開設しました。



### 店舗外キャッシュコーナーの増設

フレンドマート御蔵山店出張所開設(平成18年4月21日)

マツモト荒塚店出張所開設(平成18年5月22日)

以上